

①分別集水マット公園内比較

1.試験実施日: 2015年07月10日敷設

- ・2015年10月14日【確認日】
- ・2015年11月06日【確認日】
- ・2015年12月05日【確認日】
- ・2016年07月07日【確認日】【1年確認】
- ・2016年08月24日【確認日】
- ・2016年09月06日【確認日】
- ・2016年11月09日【確認日】

2.試験場所:千代田町なかさと公園

3.目的:

- a.分別集排水能力の1年経過確認
- b.HDマット、カールマットの目詰りリスクの確認
- c.HDマット、カールマットの空間維持能力の確認

4.試験方法 :雨水枡、U字溝での分別集水マットノーメンテナンス1年経過観察

5.試験結果:a.b.cの経過観察、HDマットの変形を確認、カールマットの形状変化無

6.考察:

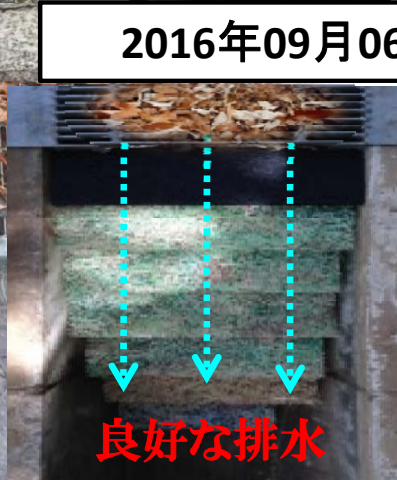
- ・雨水枡、U字溝のHDマットは1年1回の吸引メンテナンスを義務化。
- ・HDマット10mm×2枚必須、5年毎に交換を基準
- ・カールマットは損傷の無で10年継続可

P.2右側B写真極細砂を超える堆積物
P.3赤枠C写真極細砂を超える堆積物





2016年09月06日【確認日】



公園内の細砂と泥の多いU字溝



←赤枠C写真:従来の技術では細砂と泥が底から堆積し、U字溝は機能して無い。分別集水マットを敷設することで水の流れる底面が確保できる。↓青枠D写真



泥や砂の入り易い場所では分別集水マットとグレーチングの間に、細砂と泥が堆積し、湿乾を繰り返すと目詰まりしますので、雨が止んだ後に、グレーチングからかき出すように清掃することで能力維持期間が延びる

